

2026年02月17日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【マーケットの動きを見極める】

2月に入って、今日(2026年2月17日)から中国は春節(旧正月)を迎えました。

外国為替市場の三大市場は東京、ニューヨーク、ロンドンなので、中国市場の影響力は相対的に小さいのですが、成長著しい中国の市場参加者が抜けると活気が薄れる感じがします。

今月の衆院選を終えてからの外国為替市場は、調整局面を迎えている、と考えています。

衆院選後の大きなテーマは、高市政権の「秩序ある積極財政」と考えますが、現時点では、具体的な内容が不明のままなので、市場参加者も、具体的な政策が発表されるのを待っている状態、と判断しています

こういう時はポジションを縮めて致命傷を負わないような取引を心掛けながら、チャンスを待つことが大切です。

もうしばらく耐えていれば取引が活発になり、チャンスも訪れるでしょう。

それに今年はまだ始まったばかりです。

ここは焦らずに、マーケットの動きを見極める場面と考えています。

+++++

一般論ですが、相場には「アヤ」があります。

「アヤ」は、漢字では「綾」と書きます。

上昇トレンドなら上昇方向へ、下降トレンドなら下降方向へ、トレンドに沿った大きな相場の流れに対して、逆らうようにトレンドと反対に動くことを「アヤ」といいます。

相場の「アヤ」が事前に分かれば良いのですが、それを予測することはほとんど不可能です。

いつ起こるのか、どこまで逆行するのか、いつまで続くのかは、誰もが知りたいことですが、誰にも分かりません。

そのため大きな「アヤ」をトレンド転換と見誤ったり、大きな「アヤ」のせいでストップ・ロスがついた、という経験をした市場参加者も多いでしょう。

現在の外国為替市場は、この相場の「アヤ」の状態にある、と考えています。

それ故に、繰り返しになりますが、マーケットの動きを見極める場面と考えています。

+++++

(2026年2月17日東京時間14:15記述)